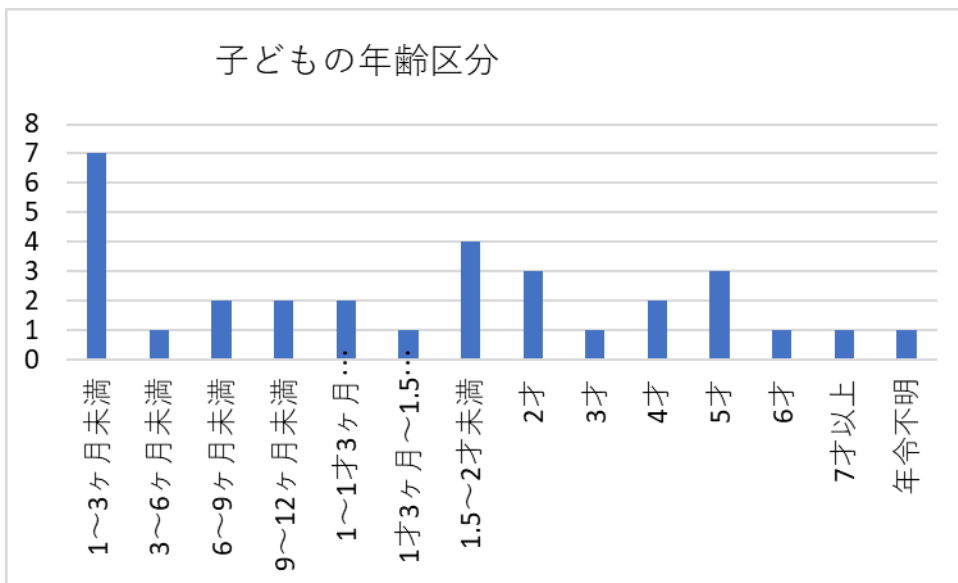
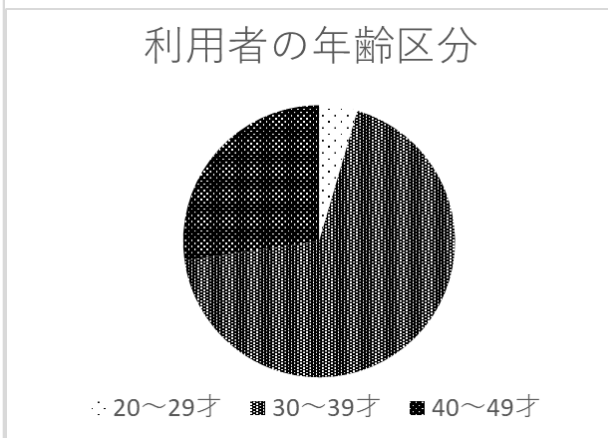
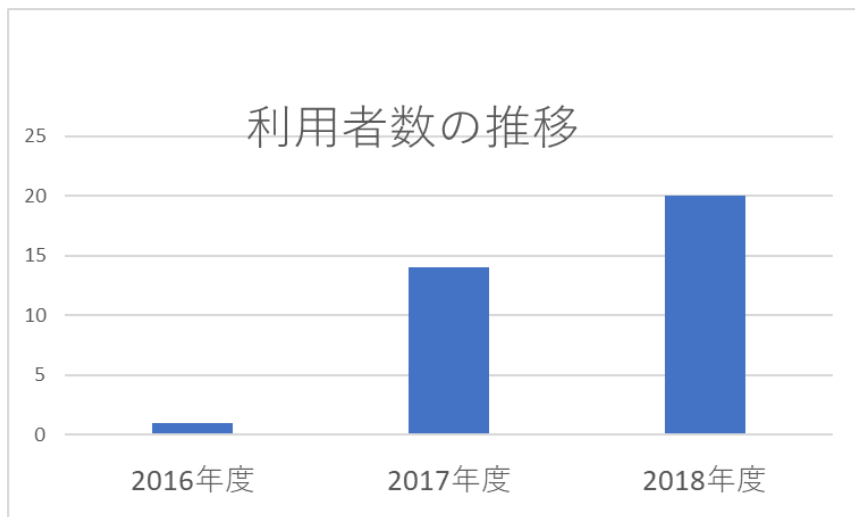


データで見るわくわくの 2018 年度

●豊島区 人口 289,573人(2019年4月1日) 0歳人口 2,073人(2019年4月1日)

●現在、登録ホームビジターは30人、オーガナイザーは2人。

●2018年度(2018年4月~2019年3月)、新たに20件の家庭を訪問し、27人のお子さんと関わりました。



●訪問回数はホームビジター、オーガナイザーを合わせると168回。

●訪問先の主な地域は豊島区ですが、周辺区(練馬、板橋、北、文京)からの申し込みが6件ありました。

★原則的に自宅から訪問先まで公共交通機関を使って30分以内で行ける場所を訪問しています。

また、土日や夜間もホームビジターが行ける場合は訪問しています。

●男性ビジターが1名誕生しました。

※利用者ニーズの一覧

- ①孤立感の解消 ②子育てサービスの利用方法を知る ③親自身の心の安定 ④自尊感情や自己肯定感 ⑤親の身体の健康
 ⑥子どもの身体の健康 ⑦子どもの心の健康 ⑧子どもの問題行動の減少 ⑨子どもの成長・発達を促す機会を作る
 ⑩家族間のイライラの減少 ⑪家事の上達 ⑫家計の悩みの軽減 ⑬多子の悩みの軽減 ⑭その他

●利用者ニーズで多かったのは・・・

- 1位 孤立感の解消 (85%) ニーズ充足率 91%
 2位 親自身の心の安定、子どもの心の健康 (75%) " 91%、100%
 3位 子どもの身体の健康、子どもの成長・発達を促す機会を作る (60%) " 100%、88%

●ニーズの充足率で低いのは「家計の悩みの軽減 66%」その理由は・・・

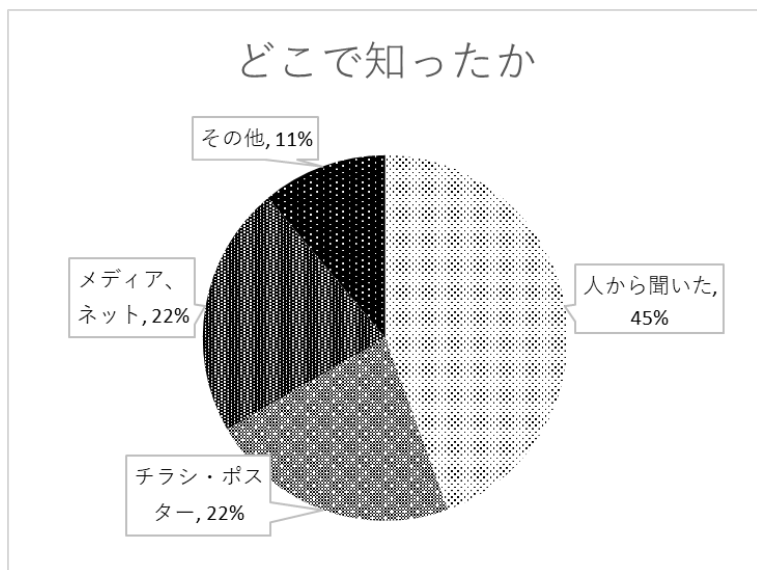
訪問時に家計のことが話題にならなかったし利用者さんもあまり気にしていなかった、話は聞いてもらったけどこれから自分で工夫しなくてはならない。→訪問終了時にはそれで納得していました。

●途中終了の理由は・・・

不安解消、または別の支援につながったからが2人、家庭の事情が1人。

●通常終了のうち、「変化なし」もあるが終了した7人のケースについて、本人が納得したのは6人、別の支援につながったのは1人となっています。

●ホームスタートを知ったきっかけ



「人から聞いた」の内訳

- | | |
|------------|----|
| 保健センター保健師等 | 1人 |
| 子育てひろば等職員 | 2人 |
| 行政の相談員 | 3人 |
| 友人・知人 | 1人 |

「チラシ・ポスター」の内訳

- | | |
|---------|----|
| 保育園・幼稚園 | 1人 |
| 子育てひろば等 | 3人 |

「メディア、ネット」の内訳

- | | |
|--------|----|
| テレビ | 3人 |
| ホームページ | 1人 |

2019年度の目標

- 訪問家庭 40家庭（外国籍家庭、妊婦の家庭、多胎児のいる家庭、男性利用者の開拓）

※現在新規利用家庭数が6件と目標を大きく下回っています。

- ホームビジター 10人登録

※現在ホームビジター養成講座を受講しているのは7人となっています。うち男性1名、参加しています。

- 広報先（チラシ配布や説明会など）10か所増（医療機関、保育施設にも拡大）

- HV 交流研修会を毎月開催（隔月の第二木曜日、第二日曜日に WAKUWAKU ホームで開催予定）

※7月14日、8月8日に開催。今後も毎月、研修や会議を予定しています。

- SNS 等でも発信（Facebook のほか、Twitter やインスタグラムでも発信）